

QC工程表・作業標準書の作り方

～暗黙知を形式知化し、誰にでも伝わる形にするための考え方と作り方のポイント～

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2512109>

◆日 時 : 2025年12月18日(木) 10:30～16:30

◆開催形式: WEBセミナー(オンライン開催)

◆受講料 : 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: プロセスデザイン研究所 所長 副田 武夫 氏

【講座の趣旨】

人材の流動化が進展する中、人材育成効率の向上が重要な経営課題となっています。

そのための前提条件として、製造業にとってはQC工程表や作業標準書の整備とその活用が大変重要です。QC工程表や作業標準書がなければ、3ヶ月かかる作業訓練も、ポイントを押さえた体系的手順書が準備されていれば、数時間で済みます。新入社員やパート要員、他部署の要員や外国人材を短期間で戦略化していかなければならない現在、組織の暗黙知の形式知化を進め、QC工程表や作業標準書として整備してゆくことが急務です。

本セミナーでは、QC工程表や作業標準書を自分で作成できるようにするためだけでなく、社内でのノウハウを展開できるようになっていただくことを狙っています。そのために、まず、完成した文書を例示し、その内容を解説した後、作成方法をステップバイステップで演習を交えながら、解説していきます。

熟練者のノウハウを個人に留めることなく、組織の知識とすることが強く望まれます。

【プログラム】

1. 作業標準書作成の基礎知識

1-1 組織の目的とその達成手段の階層構造、及び、作業標準書の位置づけ

1-2 標準書に含まれる情報の分類

1-3 ビジネス文書の構成・記述の原則

2. わかりやすいQC工程表の作り方

2-1 QC工程表とは

(1) QC工程表の目的と使い方

(2) 誰が、いつ、QC工程表を作るのか？

(3) QC工程表作成に必要な情報

2-2 QC工程表の作り方とそのノウハウ

(1) QC工程表作成のプロセス

(2) 作成単位の決定(製品別・工程グループ別)

(3) 用途、様式の決定

(4) 工程の記述

(5) 結果系と要因系の管理項目と管理基準の決定

(6) QC工程表の拡大的発展方法

2-3 共同演習: 作業ビデオの観察とQC工程表の作成

3. わかりやすい作業標準書の作り方

～作業の急所となる点に注目～

3-1 作業手順書の用途

(1) 作業確認用

(2) 訓練用

(3) 問題解決用

(4) 作業改善用

(5) 知識の蓄積

3-2 作業手順書の表現形式と作成方法

(1) テーブル方式

(2) フローチャート方式

(3) スライド方式

(4) マインドマップ形式

(5) 動画形式

『QC工程表【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール

☐ 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>